

【天野秀昭・あまのひであきプロフィール】

特定非営利活動（NPO）法人『園庭・園外での野育を推進する会』理事長
特定非営利活動（NPO）法人『日本冒険遊び場づくり協会』理事
特定非営利活動（NPO）法人『プレーパークせたがや』理事
特定非営利活動（NPO）法人『フリースペースたまりば』理事
一般社団法人『プレイワーク協会』理事
公益社団法人『こども環境学会』評議員

1958年、東京都葛飾区生まれ。美術短大時代に造形教育のサークルで子どもと本格的に出会う。その後、自閉症児との出会いをきっかけに「遊びの世界」の奥深さを実感する。1980年、開設されたばかりの日本初の民官協働による冒険遊び場『羽根木プレーパーク』で、一年間派遣ボランティアとして活動。翌年、住民運動によりプレーパーク初の有給プレーリーダーとなり、その後、地域住民と共に世田谷・駒沢・烏山の3プレーパークの開設に携わる。1998年には国内初の18歳までの子ども専用電話、『せたがやチャイルドライン』の開設にもあたった。子どもが遊ぶことの価値を社会的に高め、普及し、実践するための2つのNPO法人『日本冒険遊び場づくり協会』（元冒険遊び場情報室・99年）、『プレーパークせたがや』（05年）立ち上げの一員。また2014年には幼稚園保育園の園庭を魅力的な育ちの場（遊び場）にとの願いで、新たなNPO法人『園庭・園外での野育を推進する会』を設立した。16年には、遊びに関わる大人の育成、資格発行を目指し一般社団法人『プレイワーク協会』を設立、理事を務めている。09年4月から16年3月までは、大正大学に新設されたコースの特命教授として教鞭をとった。

1998年度 東京都「子どもの権利擁護システム検討委員会」委員
1999年度 建設省・文部省「子どもの多様な活動の場となる都市公園に関する研究会」委員
2001年度 厚生労働省・文部科学省「地域における少子化への対応を推進するための調査研究委員会」委員
2002年度 内閣府「青少年の育成に関する有識者懇談会」委員
2003年度 世田谷区「健やか親子検討会議」委員
2007年度 上川大臣と有識者との懇談（内閣府）
2008年度～2009年度 文部科学省「子どもの徳育に関する懇談会」委員（09、8 辞任）
2014年度～2016年度 日本ユニセフ協会東日本大震災「子どもにやさしい復興計画」アドバイザー
2016年度～現在 日本ユニセフ協会「子どもにやさしいまちづくり事業作業部会」委員
2016年5月～2020年12月 韓国順天（スンチョン）市「奇跡の広場」諮問委員

著書 『よみがえる輝く子どもの笑顔』／すばる舎
『子どもは大人の育ての親』／ゆじよんと
『遊びが社会を変える』／日本冒険遊び場づくり協会編
共著 『冒険遊び場がやってきた』羽根木プレーパークの会編／晶文社
『子どもにも言わせろ！ホットライン・ブックレット1～6巻』／ジャパンマシニスト社
監修 『チャレンジ！あそび大辞典』／偕成社
他（論文掲載、執筆協力など）書籍の一部
『遊び場のヒミツ』羽根木プレーパークの会編／ジャパンマシニスト
『もっと自由な遊び場を』遊びの価値と安全を考える会編／大月書店
『遊び場づくりハンドブック』大村璋子著／ぎょうせい
『子どものための公園づくりガイドライン』国土交通省監修／財務省
『青少年の育成を考える』内閣府政策統括官監修／ぎょうせい
『検証少年犯罪』日本弁護士連合会編／日本評論社 等

2017年1月1日現在